

## お話朝会「校長講話」

6月13日（木）のお話朝会において、第2回「校長講話」がありました。

講話は、「みんな違うからみんないい」をテーマに、友情（共感や信頼の気持ちを持って互いに肯定し合う関係）や思いやり（その人の身になって考え、気遣い行動する温かい心）について、全校児童の心に響く貴重なお話を頂きました。

講話の締めくくりでは、「十人十色」の言葉の通り、「顔も性格も全く同じ人間はなく、あなたとそばにいる友達も世界に一人しかいません。」「一人一人違うみなさんが心をつなぐれば、素晴らしい学級・学校になります。」と語りかけました。

子供たちは、校長先生の講話から、「違いを受け入れる心」「相手を気遣う心」「相手を思いやる心」を育てることで、優しい心があふれると同時に、そばにいる一人一人と互いに「認め合い」「協力し合い」楽しく学校生活を送りたい、そんな気持ちを抱いたことでしょう。

文面において、校長講話の内容をすべてお伝えすることができず、残念ではありますが、校長講話の伝達内容については、ここで閉じさせていただきます。

次回のお話朝会「校長講話」は、1010日（木）を予定しています。

校長先生、「校長講話」有り難うございました。

